

第10期事業報告書

(2023年10月1日～2024年9月30日)

1. まとめ

① 評価と認定

2023年5月にコロナ感染症の方針が「5類」に移行されました。全国のホームホスピスでは、感染管理と日常生活の維持をどう両立させるかを工夫し、ターミナル期の面会を制限しませんでした。これは、感染のリスクよりもつながりを無くすリスクの方が大きいと判断し、守るべきものは「暮らしと人生」というホームホスピスの理念に基づいての実践でした。これは全国の病院施設でのコロナ禍対策の中で特記すべきことで、このことはホームホスピスの利点、コロナ禍の中での実例として評価できるものと考えています。

評価（レビュー）は開設後3年以上経った団体は受けてほしいという仕組みなのですが、コロナ禍の影響が残っており、レビューの実績が伸びませんでした。また、レビュー（評価）の実施方法についても、オンラインを用いたり、どの時点でのレビューを受けるのかなど、再検討の時期に来ています。

② 研修

第12回ホームホスピス全国合同研修会は、あたりまえの暮らしを「あたりまえに」をテーマに、福岡市で開催されました。実は、第9回が福岡開催予定でしたが、コロナ禍の影響でオンラインになり、今回はそのリベンジでもありました。九州支部の皆さんが実行委員として広報や当日はたくさん集結してくださり、会場運営ボランティアとして大きな働きをしてくださいました。

医療的ケア児が少数で暮らす「はたけの家」の実践は、「どんな障害があってもあたりまえに暮らしていけるように」という親たちの願いから開設され、ホームホスピスの理念にも通じるもので、今回のテーマになりました。また、現役医師のデュオ・インスハートのパフォーマンスには、会場全体が感動に包まれました。そして、ホームホスピスを含む医療・福祉社会が今何を課題としているのか、「利他とケア」とは何かなど、広い視点での内容が続き、学びの多い充実した2日間となりました。

ホームホスピス実践者育成塾は、熊本で開催され、対面とオンラインでのハイブリット開催になりました。特に今回は現場でのケアの実践にすぐに役立つ学びにと内容を検討しました。歯科医の立場から最期まで口から食べるために看取りを見据えた口腔ケアと食支援について、POOマスターから、個々の排泄パターンを把握し、気持ちよく出すケアについての講義でした。宿泊での参加も多く、懇親会は久しぶりに食事をしながら語らう場になりました。他地域のホームホスピスとの交流がとても参考になったり、元気をもらう場になっていました。

支部研修会は、ホームホスピスのない地域へホームホスピスを啓発することも重要だと、ホームホスピスの実践を啓発する研修の機会を地域でつくっていくことを主目的に内容が検討されました。

関東支部は東京で、西日本支部は広島で開催されました。東北支部は開催予定でしたが会場が定まらず来期に持ち越しになり、オンラインでの交流となりました。また、同時に支部での交流の機会にもなり、近況報告を通して課題や悩みは共通していること、それをどうやって乗り越えているのかなど、同じ立場で実践しているからこそ分かり合え、励みになる会にもなりました。

③ 人材育成：「ホームホスピスの学校」

2021年6月に開校したホームホスピスの学校は今期、第6期と第7期を開校しました。座学がオンラインで受講できるスタイルは、これまでホームホスピスを作りたいけれど、仕事を続けながらでは困難とあきらめていた方にとって朗報でした。また仕事の都合などによりライブで受講できなくても、アーカイブで動画が配信されるので、それを受講しレポートを提出し評価を受けるというのも、仕事をしながら受講する方にとっては受講しやすい形になっています。受講終了した方々の中から開設した方や、準備中の方々が誕生し、徐々に「ホームホスピスの学校」の成果が上がってきています。

今期 2023 年の第 6 期、「つくるコース」は 7 チームで 15 名受講と「まなぶコース」10 名の参加、2024 年の第 7 期、「つくるコース」は 6 チーム 12 名参加、「まなぶコース」19 名でした。「つくるコース」にホームホスピスのない地域の京都府京都市、鳥取県米子市、大分県佐伯市、滋賀県大津市など受講生がエントリーされ、その地域に広がっていけばと期待されます。また、ホームホスピスで働いている方向けの「ホームホスピスコース」では、新人研修や学び直し場として活用されています。

④ 開設及び拠点整備

開設までの道のりには、法人設立から、物件探し、地域での掘り起し活動など、多くのハードルがあります。また、助成金の申請などのアドバイスなど、多くの相談電話やメールが協会に寄せられています。物件が見つければ、理事会で実際に足を運び、家の間取りなどでは、山口健太郎理事にアドバイスをもらいました。また、現時点で物件を決めて資金計画や改築の準備に取り掛かっている所が、新潟県新潟市、東京都大田区、沖縄県宜野湾市、京都府京都市、高知県高知市、岡山県真備町、北海道札幌市、和歌山県白浜町、島根県出雲市、兵庫県神戸市など、10 地域で準備中です。

◎ ホームホスピスが新たに誕生

今期は、4 軒のホームホスピスが誕生しました。2024 年 4 月に福岡県糸島市に「マイレの家」、5 月に福岡県八女郡広川町に「あいのさと」、7 月に兵庫県小野市に「和ははの家」、9 月に千葉県旭市に「清水の里」と相次いで開設されました。いずれも「メットライフ財団×日本財団 高齢者の豊かな居場所プログラム」の助成金で開設されました。

開所式には、財団関係者をはじめ、地域の行政職員、県議会議員、市議会議員、地域自治会や近隣住民の方々など、多くの方々が参加され、また新聞テレビなどのメディアの方々の取材がありました。翌日には新聞に掲載され、地域の信頼も含めてホームホスピスの船出に多くの期待が感じられました。

⑤ 運営にかかわる相談

協会事務局には、全国のホームホスピスからの相談電話がかかってきます。新たに 2 軒目開設したいのだからとか、介護職の人材が足りずやむなく夜勤を続けている、BCP の作成はどうしたらよいか、事業継承について等々です。必要があれば、出向いて話を聞き、課題を見つけてどうすればいいのかを一緒に考えます。また、自宅での介護困難や終末期に過ごす場所として、全国にあるホームホスピスを紹介してくださいというご相談も増えています。そんな時に、どの県にも、どの地域にもホームホスピスがあったらと思います。

⑥ 運営

2015 年に全国ホームホスピス協会を設立し、運営にかかる費用は日本財団の公益・福祉の助成金を受けてきました。その助成も今期は 10 年目となり、協会の自立に向けての第 3 フェーズ（3 か年）に入ってきました。協会活動を支える資金の柱は、会員を増やし会費を増やすことですが、その為にはホームホスピスが増えることが必要です。各都道府県に 1 か所以上のホームホスピスを開設し、地域における在宅看取りを普及するための拠点となることを目指しています。現段階でホームホスピスが運営されているのは 21 都道府県ですが、開設準備中の沖縄県、島根県、高知県、岡山県、新潟県、京都府、北海道を加えると 28 都道府県になります。

また、ホームホスピス支援基金を創設する方法を探っていますが、中間支援団体が寄付などで基金を創設した事例が少なく、資金調達支援企業などからの情報を収集している段階です。

2. 実施事業

① 評価と認定

◎レビュー(認定審査)の実施

- ・新規レビュー 希望団体なし
- ・5年更新レビュー 対象団体3団体について日程調整中

*評価審査委員：高橋紘士、市原美穂、松本京子、竹熊千晶、金居久美子、岡本峰子、山口健太郎

② 研修会の実施

◎全国合同研修会の開催

第12回ホームホスピス全国合同研修会

あたりまえの暮らしを「あたりまえ」に

期日：2022年12月2, 3日

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール(福岡市) ・ オンライン配信

参加者数：会場 260名、オンライン 72名

内容：ホームホスピスの暮らし 市原美穂 理事

命を受けとめるまちづくり ニノ坂保喜 氏

はたけのいえの暮らし 水野英尚 氏

あなたのところに寄り添うことば インスハート

人をつなぎ・人がつながる 大熊由紀子 氏

在宅医療ことはじめ 太田秀樹 氏

利他とケア 伊藤亜紗 氏・村瀬孝生 氏・高橋紘士 理事



【参加者感想】

・在宅医療やケア、患者さんへの接し方など、情報提供だけでなく自分自身の家族についても考える良いきっかけになった。

・あたりまえの暮らしをあたりまえに。その人らしい生の全うって、素晴らしいと思います。自分らしい生活をしていると生きる力になるのだと事例を通して知ることができた。ニノ坂先生のお話で、満足、納得できる最期の条件というのは本当に大事なことで、自分の気づきになりました。医療関係者として自分がどうかかわっていけるか考えます。世の中にはいらない命なんかない、本当にそうだと思います。あたりまえに日常を諦めない人権が尊重される社会になればいいと思う。

・障がいのある方のこのような取り組みを知らなかったのも、とても勉強になった。インスハートの音楽は、感動した。音楽で寄り添い、音楽で癒されるって、とてもいいですね。音楽の力はすごい。

- ・ユーモアのある話しぶりの中に本質的なことが含まれていて、内容が充実していた。ホームホスピスをテーマとする会であるが、医療・福祉社会の広い分野に関係しており、学びが多かった。
- ・あたりまえについて、考えるよい機会となった。
- ・久しぶりに仲間に会えて、嬉しかった。改めて仲間としての繋がりを実感。目の前の仕事（ホームホスピス）を中心に考えすぎている日だと、世の中に目を向けているようで向けていなかったと気づき、力を得る時間となった。
- ・インスハートの歌は、心に響きました。
- ・今やっていることの確認、自信が持てるようになった。近くにホームホスピスができるよう頑張りたい。
- ・太田先生の話聞いて、本当に良かった。
- ・以前からホームホスピスについての話を聞いてみたいと思っていたが、思っていた通りの場所でした。ホームホスピスの学校へ入ることが目標になりました。



第13回ホームホスピス全国大会 in 神奈川の企画

第1回実行委員会 2024年4月26日 オンライン

第2回実行委員会 2024年9月10日 川崎コンベンションホール・オンライン

参加者：関東支部：ホームホスピス運営団体、ホームホスピスの学校修了生

◎ 各支部活動

(1) 研修会

① 関東支部研修会

期 日：2023年10月20日

会 場：TKP 東京駅カンファレンスルーム（東京都）

参加者：ホームホスピス運営団体、ホームホスピスの学校つくるコース(関東支部)

協会理事・事務局 計23名

内容：各ホームホスピスの取組みの発表・意見交換



② 西日本支部研修会

期 日：2024 年 3 月 24 日

会 場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前

参加者数：会場 81 名 オンライン 20 名

内 容：住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすために

広島における在宅看取りの現状と課題

ホームホスピスの暮らしと看取り～西日本支部ホームホスピスからの報告～



③ 東日本支部支部研修会実行委員会

期 日：2024 年 7 月 9 日 オンライン

内 容：2025 年実施に向けて

◎ ホームホスピス実践者育成塾

期 日：2024 年 7 月 13、14 日

会 場：パレアくまもと県民交流館会議室(熊本県)・オンライン

参加者数：会場 67 名 オンライン 60 名

内 容：7 月 13 日

最期まで口から食べるを支える一看取りを見据えた口腔ケア 食支援― 園田隆紹 氏

自然な排便習慣を大切に一個々の排泄パターンを把握し、気持ちよく出すケア―馬場美代子 氏
グループワーク

- (1) 家族ケア―「困難事例への向き合い方はどうしてる？」
- (2) その人らしい看取りとは―「その人らしさとは？」
- (3) ホームホスピスの理念の周知―「ケアを語っていますか？」
- (4) とも暮らしとは―「どんな時に感じ、大切にしていることは？」
- (5) ホームホスピスにおける ACP の実際―「会話と対話とは？」



7月14日

島で最後まで暮らしたい 室原誉怜 氏

10年後、20年後のホームホスピスは？ ホームホスピスに期待すること

室原誉怜 氏・市原理事・高橋理事



【参加者感想】

- ・食べること、出すことの大切さがよく分かりました。試してみたい事務内容も多く参考にしたい。
- ・口腔ケア、排便コントロール、その人の生活を支える基本となるケア。自らがまだまだ不勉強と痛感。今後、学びなおしていきたい。「島で・・・」の高齢化比率60%我が村に置き換えて聴かせてもらった。感動、感銘とともに勇気、元気をもらった。現状をむしろ楽しみと換えていきたい。
- ・他地域のホームホスピスとの交流がとても参考になった。課題として、どこもが経済的なことを訴えていた、そこをどうしていくか、切実なことだと感じましたが、その方が何を大切にどう過ごしたいか、何を望んでいるのか、その価値を伝えていく必要があると感じられた。
- ・日ごろのケアについて、自分の思い込みでケアしていた事に気づいた。
- ・スタッフのコミュニケーション等について知りたい。
- ・10年後20年後が楽しみになる世の中にしたいです。

③ 人材育成

◎ ホームホスピスの学校

ホームホスピスを始めたい人、またホームホスピスのことを学びたい人の為に、2つのコースを用意しました。「つくる」コースは、ホームホスピスの理念やケアの哲学および運営や管理についての座学と20日間の現場実習で構成されます。また「まなぶ」コースは、理念や運営などの座学は「つくる」コースと共有し、現場実習を数日間としました。

ホームホスピスで働く方向けの「ホームホスピスコース」では、新人研修や学び直しの場として活用されています。

- ・6期生 つくるコース7組15名 まなぶコース10名 ホームホスピスコース2名
- 2023年10月7日開校式
- 10月7日～10月24日 座学①・オンラインミーティング
- 10月26日 つくる準備講座
- 11月1～2日 つくるコース オンライン面接
- 11月15日～12月7日 つくるコース 座学②
- 12月～ 実習・事務研修



- ・7期生 つくるコース6組12名 まなぶコース」19名 ホームホスピスコース1名

2024年6月1日開校式

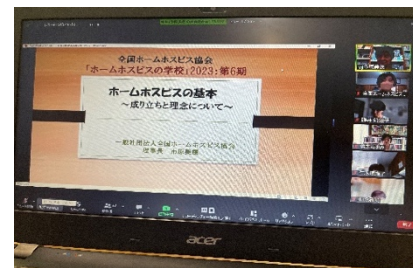
6月1日～6月18日 座学①・オンラインミーティング

6月20日 つくる準備講座

6月24～26日 つくるコース オンライン面接

7月4日～8月6日 つくるコース 座学②

8月～ 実習・事務研修



④ 開設及び拠点整備

◎ 開設前現地指導

現地視察、メール、電話、オンラインによる相談を実施

相談内容：開設、運営、物件選定、改築設計、助成金、
改築設計相談、団体設立のための広報活動相談 など

- ・現地視察、相談

2024年3月13日 ほしぞら（福島県）



◎ 拠点整備前視察・相談

2023年11月4日 あんまあの家開設記念講演会（鹿児島市）

11月18日 出雲市市民講座 講演（島根県出雲市）

物件視察（高知県高知市）

12月14日 物件視察（京都市右京区）

2024年2月11日 マイレの家改築物件視察・開設記念講演会（福岡県糸島市）

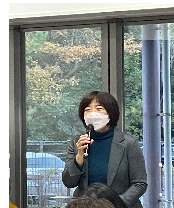
4月23日 マイレの家開所式（福岡県糸島市）

5月24日 あいのさと開所式（福岡県）

7月23日 和ははの家開所式（兵庫県小野市）

9月11日 緑 改築物件視察（東京都）

9月20日 清水の里開所式・開所記念講演会（千葉県旭市）



【出雲市市民講座】



【マイレカフェ】



◎ 新規開設

2024年4月 ホームホスピスマイレの家（福岡県糸島市）



2024 年 5 月 ホームホスピスあいのさと（福岡県八女郡広川町）



2024 年 7 月 ホームホスピス和はは（兵庫県小野市）



2024 年 9 月 ホームホスピス清水の里（千葉県旭市）



⑤ 運営にかかわる相談・基盤づくり

◎ 相談支援・ヒアリング

《視察・相談》

台湾・台東地区都蘭診療所のSang-Ju Yu医師、五十嵐由紀子さん他、看護師、介護士、大学教授、栄養士など、10名の視察団が、以下の日程で来訪。台湾は、国の委託事業として10月から「ホームホスピスモデル事業」がスタートする。その為の開設相談と九州2か所のホームホスピスの実際を視察研修した。

日程：2024年5月29日～30日 協会事務局で開設に向けて研修。食支援の実際の視察（かあさんの家生目台）、医療的ケア児の視察。30日午前にはH A L E視察、午後から熊本へ移動。

2024年5月30日～6月1日、熊本われもこう薬師にて夜勤実習。われもこ新大江の現場実習、暮らしの保健室にて研修。

《電話・メール等による相談》

主な内容：新規開設、閉鎖、継承、助成金申請、運営、広報、など



◎ 実践者スキルアップ研修

ケアを担っているスタッフが希望する他のホームホスピス（現在は下記の5カ所が受入機関）

もしくは、事務担当スタッフが協会事務局にて1日～2週間程度研修

受入機関…ホームホスピスカあさんの家・ホームホスピス神戸なごみの家・ホームホスピス愛逢の家

ホームホスピスたんがくの家・ホームホスピスわれもこう・ホームホスピスひなたの家

◎ 緊急支援

2024年1月1日、能登半島を大地震が発生、大きな被害をもたらし、今も復興の只中にある。

2024年1月6日 直ぐに石川県小松市のホームホスピス「もうひとつのいえややさん」の榊原千秋さんが動き、被害状況確認。道路の損壊が激しく困難を極める中、看護・介護関連の物資運搬を行った。助かったいのちのその先の”生きる“を支え、災害関連死を阻止する為に組織されたDC-CATを支援し、現役の看護やケアの専門家集団の後方支援の役割を果たした。また、協会団体会員のひなたの家（姫路市）、なごみの家（神戸市）、ゆずの家（広島市）のスタッフが能登の介護施設に支援に入った。

⑥ 調査研究と普及

- ・ホームホスピスについての新聞掲載記事等の収集、管理
- ・ホームホスピスの基準（英語版）周知配布
- ・ホームホスピスの実態調査

2023年12月2日 運営者会議にて実態調査結果の共有と意見交換

- ・クラウドファンディングや企業寄付、助成金補助金申請に関する調査、研修会参加

2024年1月19日 伝えるコツセミナー参加（東京都）

2月6日 NPO法の認定基準における受取寄付金とその返礼に関する説明会（オンライン）

3月6日 法人向け不当寄附勧誘防止法説明会（オンライン）

3月9日 FRJ2024（東京都・オンライン）

- ・「ホームホスピス支援基金」設立のための調査（READYFOR・Syncable とオンラインミーティング）
- ・ホームホスピスに関する講演、他団体研修参加

2023年10月28日 日本ホスピス・在宅ケア研究会（宮城県）

講演：市原理事

2024年7月28日 在宅ケアサミット2024（東京都）

参加：高橋理事、もうひとつのいえややさん



⑧ インフォメーション

定時社員総会

日時：2023年11月22日（水）15：00～16：00

於：ホームホスピス宮崎・WEB

決議事項：

第1号議案 第9期(2022年10月1日～2023年9月30日)

事業報告書承認の件

第2号議案 第9期(2022年10月1日～2023年9月30日)

決算報告書承認および監査報告の件

報告事項：第10期(2023年10月1日～2024年9月30日)事業計画及び予算

理事会の開催

第1回理事会 2023年11月20日 場所：オンライン

議事：協議事項のみ

- ① 9期の事業報告・決算報告について
- ② 来年の全国大会の会場について
- ③ 第7期ホームホスピスの学校について

第2回理事会 2024年1月12日 場所：オンライン

議事：協議事項のみ

- ① 来年の全国大会について
- ② レビューについて
- ③ 支部研修会について
- ④ 来年の育成塾の場所、時期について
- ⑤ ホームホスピスの学校について
- ⑥ 能登半島地震の支援について

第3回理事会 2024年3月25日 場所：オンライン

議事：協議事項のみ

- ① 第8回「ホームホスピス実践者育成塾」について
- ② 第13回ホームホスピス全国大会 in 神奈川について
- ③ 日本財団の第3期計画について

第4回理事会 2024年6月10日 場所：オンライン

議事：協議事項のみ

- ① 第13回ホームホスピス全国大会 in 神奈川について
- ② 第8回「ホームホスピス実践者育成塾」について
- ③ ホームホスピスの基準の改訂について
- ④ ホームホスピスの学校第7期の面接日程について
- ⑤ その他 役員改選、レビューの見直し、HH学校の追加受講、基金設立… など

第5回理事会 2024年9月10日 場所：オンライン

議事：協議事項のみ

- ① 第13回ホームホスピス全国大会 in 神奈川について
- ② ホームホスピスの学校第8期について
- ③ 「ホームホスピスの基準」について
- ④ 役員改選について
- ⑤ 定時総会の日程について
- ⑥ 第11期の事業計画について
- ⑦ 今後のレビューについて
- ⑧ 新規の取り組みについて

議事：協議事項のみ

- ① 第13回ホームホスピス全国大会 in 神奈川について
- ② ホームホスピスの学校第8期について
- ③ ホームホスピスの基準の改訂について
- ④ 次回の役員改選に向けて
- ⑤ 定時総会の日程について
- ⑥ 第11期の事業計画について
- ⑦ 今後のレビューについて
- ⑧ 新規の取り組みについて
- ⑨ 日本財団との協議について

◎ 事務局体制

事務局長：黒岩雄二 事務局：岡田瑞穂、岩切知峰、岡田直樹

理事会記録：古野たづ子

事務局も今期で9年目となりました。今期から新たなスタッフとして岡田（直樹）が参加することになって体制が強化され、協会のホームページのリニューアルもようやく完成しました。

事務局の業務としては、会員名簿の管理、理事会の運営、相談対応、情報発信、研修の企画・運営、ホームホスピスの学校の運営、日本財団への助成金申請サポートなど多岐にわたっていますが、特にホームホスピスの学校は3年目となり、「つくる」コースの受講者、修了生ともに増え、開設を目指す方も増えてきたことで、その方々のサポート業務も益々多くなってきましたが、人員が増えたことで対応が可能になってきています。

研修会や各種の会議は、そのほとんどがオンラインを併用した参加者と会場をつなぐハイブリッドでの開催となり定着してきました。事務局は、会場運営とオンラインのホストとしての役割も担っています。

また、当協会は、日本財団の支援をいただいて運営していますが、助成期間も新たなフェーズに入り、自活への取り組みに益々注力しなければなりません。病院ではない自宅または自宅に近い環境で最期の時を過ごし、家族や近い人に看取られる…そのような場所としてホームホスピスの重要性を評価していただき、その推進のために助成していただいています。事務局は、日本財団との協議や連絡窓口も担っており、ホームホスピス開設のための助成プログラムや寄付金による支援プログラムなどの情報も共有させていただいております。

◎ 広報活動

- ・ニュースレターたんぽぽ9号の発行
- ・ホームホスピス協会パンフレット制作、配布
- ・ホームページ（担当：黒岩雄二・岡田直樹）
- ・Facebook（担当：岡本峰子・黒岩雄二）
- ・Instagram（担当：岡田瑞穂）
- ・X（担当：岡田瑞穂）



◎ メットライフ生命 CSR 活動

- ・オンライン聞き書きサポート

2023 年 10 月 19 日 小田豊二氏と打ち合わせ（横浜市）

2023 年 11 月 16 日 聞き書き講座① 講師：小田豊二氏

（宿題）VTR 視聴して聞き書き体に見よう

12 月 14 日 聞き書き講座②

2024 年 1 月～9 月 3 チームに分かれてオンライン聞き書き、製本

- ・メットライフ生命社員の皆さんより雑巾等の寄付（ホームホスピス 10 団体へ）